

2025 年度

(令和 7 年度)

学校評価

自己評価報告書

(ダイジェスト版)

令和 8 年 3 月 28 日 (土)

四国医療福祉専門学校

学校評価

「自己点検評価」

目 次

1. 教育理念、目的
2. 目標と計画
3. 自己評価表
4. 自己評価結果（総括）

1. 教育理念、目的

教育理念	社会において役立つ技術修得とともに信頼される社会人としての人格を備えた人間の育成。
目的	専門資格を持った社会人として、その知識技術を活かし、社会の一隅を照らす人材を育成すること。 卒業後社会に貢献することによって、自身の役立ち感を実感し、自らが幸福になってもらうこと。

2. 2025（令和7）年度の目標と計画

<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 資格保証：目標資格 100%取得 ② 就職保障：就職内定 100%獲得 ③ 学生募集：定員確保（介護福祉40名、医療事務30名、臨床工学40名） ④ 学習環境：資格保障、授業保障 学科間連携授業 退学者減の維持 ⑤ 教育目標：挨拶、感謝の発言の定着 ⑥ 卒業生との連携：卒業生の起用、卒後情報収集 ⑦ 社会貢献・地域貢献：日赤献血の継続、学科関連ボランティア
<p>計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 資格保証 <ul style="list-style-type: none"> ・ わかりやすく、親切丁寧な指導。（授業アンケートからの改善） ・ 検定対策、補習、個別指導の見直し、工夫。 ・ 姉妹校との連携やこれまでの経験値を活用し、指導方法を見直す。 ② 就職保障 <p>就職指導ガイドラインに沿った情報収集、就職ガイダンス、態度教育の実施。</p> ③ 学生募集 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学園本部と連携した取り組み。 ・ SNSの効果的活用による情報発信。 ・ 教員による高校内での説明会、出前授業の拡大。 ・ 外国人留学生受入の拡大 ・ 学校コンセプトの導入 ④ 学習環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート（授業、学校生活）からの状況把握と改善。 ・ 学科間連携授業：専門領域の他学科への出前授業の実施。 ・ 退学傾向者への早期対応。 ・ 老朽化した設備の更新とIT化時代への対応。 ・ 教員研修への参加奨励し、教員の資質向上 ⑤ 教育目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関での挨拶指導、教職員自ら率先した挨拶と指導 ・ 校内での挨拶、外来者への挨拶、授業時挨拶の推奨、推進 ⑥ 卒業生との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンスでの卒業生講師起用。 ・ 特別授業における卒業生講師起用。 ・ 学校説明会、出前授業への起用。 ・ 卒後のキャリアアップフォロー。 ⑦ 社会貢献・地域貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日赤奉仕団、校内献血活動の継続 ・ 学科関連企画へのボランティア参加

3. 自己評価表

①	教育理念・目的・育成人材像	p 1								
②	学校運営	p 2								
③	教育活動	<table border="1"><tr><td>学科ごと</td><td></td></tr><tr><td>介護福祉学科</td><td>p 3～8</td></tr><tr><td>医療事務学科</td><td>p 9～16</td></tr><tr><td>臨床工学学科</td><td>p 17～22</td></tr></table>	学科ごと		介護福祉学科	p 3～8	医療事務学科	p 9～16	臨床工学学科	p 17～22
学科ごと										
介護福祉学科	p 3～8									
医療事務学科	p 9～16									
臨床工学学科	p 17～22									
④	学修成果									
⑤	学習支援									
⑥	教育環境									
⑦	学生募集と受入れ	p 23								
⑧	財務	p 24								
⑨	法令の遵守	p 25								
⑩	社会貢献・地域貢献	<table border="1"><tr><td>学科ごと</td><td></td></tr><tr><td>介護福祉学科</td><td>p 26</td></tr><tr><td>医療事務学科</td><td>p 27</td></tr><tr><td>臨床工学学科</td><td>p 28</td></tr></table>	学科ごと		介護福祉学科	p 26	医療事務学科	p 27	臨床工学学科	p 28
学科ごと										
介護福祉学科	p 26									
医療事務学科	p 27									
臨床工学学科	p 28									
⑪	総括	p 29								

※ 評価基準

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

3. 自己評価表 評価基準（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1）

① 教育理念・目的・育成人材像

評価	4
----	---

1-1	教育理念・目的・育成人材像（以下「教育理念等」）は、定められていますか	4
実施状況等	年度初め理事長訓示 職員会議（学校指針、教育理念、教育目的、本校の使命、本校の役割）、学生便覧、ホームページ掲載、学校新聞発行、 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会	
1-2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか	4
実施状況等	日本介護福祉士養成施設協会全国教職員研修会（オンライン）、日本医業経営コンサルタント学会、日本臨床工学技士教育施設協議会、香川県臨床工学技士学術大会	

評価結果 （総括）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育理念は本学園創設以来継承されてきている。 ・ 理事長訓示により、年度初めに学園全体としての方向性が明示されている。 ・ 学園の理念に基づいて、教育目的、教育目標、教育指針を明文化し、職員会において周知し、一貫した教育の柱としている。 ・ スクールポリシー（3つのポリシー）を明文化し、公表している。 ・ 学校コンセプトの検討、決定を行った。
取組状況と その分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育理念等は、教職員・学生・保護者・その他学校外へもパンフレット、ホームページ、学生便覧、学校新聞などを通じて周知を図っている。 ・ 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会においても十分な理解を図っている。 ・ スクールポリシー（3つのポリシー）を明文化、公表し、本校の特色を具体化している。 ・ 全学科共通講義として、「医療の接遇」講座を開催した。 ・ 「教育課程編成委員会」において、関連業界との連携を密にし、教育内容等に反映。
今後の 改善方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も社会のニーズに対応した有用な人材を育成していく。 ・ スクールポリシーを念頭に、全ての教育活動に反映していく。 ・ 「教育課程編成委員会」の意見を参考にし、職業実践教育に生かしていく。 ・ 学校コンセプトの浸透を図る。

② 学校運営

評価		4
2-1	運営方針は教育理念等に沿ったものになっていますか	4
実施状況等	年度初め学園教職員全体会、月例職員会議、月例企画会議、各学科会、各委員会、	
2-2	事業計画を作成し、執行していますか	4
実施状況等	年間計画表作成、月次計画表作成、学校行事計画書作成、月次報告書、行事報告書	
2-3	組織運営は適切に行われていますか	4
実施状況等	学園理事会・評議員会開催（オンラインと対面）	
	就業規則、内規を遵守し的確に運営されている	
	所属長会議、職員会議、各科（課）会、委員会の実施	
2-4	人事・給与に関する制度を確立していますか	4
実施状況等	就業規則にのっとり学園総務にて一括管理運用	
2-5	業務の効率化を図っていますか	4
実施状況等	情報機器の整備点検、事務機の整備点検を逐次実施、全館 Wifi 整備、2F 教務室にインターネット回線接続	
	書式の合理化、改善	

評価結果 (総括)	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の設置基準を遵守し、5条報告による点検報告も的確に運営している。 専修学校設置基準を遵守し、適切な運営をしている。
取組状況と その分析	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めの学園方針訓示、年間事業計画 所属長会議、定例職員会議、学科会、事務・広報会、各種委員会を定期的、適時的に開催し、情報共有を図った。
今後の 改善方策等	<ul style="list-style-type: none"> 課題がマンネリ化しないよう目標意識を明確にし、成果達成に向ける。 常に原点の「何の為に」を明確にし、目標達成に向けたPDCAサイクルを継続する。 「職業実践専門課程」の認定の維持・向上を図る。

③ 教育活動

評価	4
----	---

◎目標の設定等

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	4
実施状況等	教育理念、育成人材像に沿って、国の示すカリキュラムを基本として、年度目標を立て、中間及び年度末に振り返り、教育到達レベルを測っている。 教育課程編成委員会の実施	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	4
実施状況等	入学時、学生に学生便覧・シラバスを配布し、説明。	
3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	4
実施状況等	非常勤講師によるマナー講座を実施し、社会人として必要なマナーの修得を図っている。 現役介護福祉士との意見交換会を実施し、自身の将来像を考える機会を作っている。香川県介護福祉士会会長や本校卒業生から介護現場の魅力を在校生に伝えてもらう機会を設けた。	
3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	4
実施状況等	授業アンケートを実施し、次年度授業に向けた改善に取り組んでいる。 教育課程編成委員会において委員の方より授業カリキュラムや実習記録などについて意見をいただき次年度に向けてカリキュラムの変更を行った。	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	4
実施状況等	成績評価基準を学生便覧に明示し、シラバスと共に入学時に配布説明している。 成績を前期、後期試験終了後、実習終了後に学生に周知、保護者に対しては三者面談時に周知。	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	4
実施状況等	学則に示す成績評価基準に沿って適性に評価している。 実習、卒業については学科教員全員による判定会を実施している。	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
実施状況等	介護福祉士、レクリエーションインストラクター、取得に向けたカリキュラムを構成している。シラバス等は文書により配布。	
3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況等	介護福祉士国家試験対策の授業実施、国家試験直前補習の実施 レクリエーションインストラクター学内審査の実施、留学生（N3）に対する日本語支援（N2）取得	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	4
実施状況等	教員数、資格・要件を満たしている。	
3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	4
実施状況等	校内研修の実施 日本介護福祉士養成施設協会全国教職員研修会参加、日本レクリエーション協会中国四国ブロック大会参加、外国人介護人材への学習支援研修会参加、香川県専修学校各種学校連合会教員研修会参加	

◎地域に根ざした教育〈重要〉

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	4
実施状況等	施設実習、現役介護福祉士との意見交換会、歯科医療専門学校の講習会の実施。また、本校からも歯科医療専門学校学生に対して講義を行った。授業の一環で JR 高松駅のユニバーサルデザイン、介護王座決定戦、かがわりハビリテーションセンター、国立療養所大島青松園の見学を行った。またレクリエーションフェスティバル、スポーツレクリエーション祭にスタッフ参加として協力した。さらに、外部団体が行う認知症カフェに参加、企業との連携として株式会社サニクリーンの協力をいただき、環境整備に関する講義を受講した。 高校からの依頼による福祉教育の授業の実施。香川県の補助による福祉のとびら授業の実施。	
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	4
実施状況等	交通安全教育に関するDVD視聴、学生指導委員会による交通安全指導、国立療養所大島青松園を訪問し、入所者講話聴講及び島内のフィールドワークを行った。	

評価結果 (総括)	学生の人間性、介護福祉領域における専門性を高めることを目的とし、地域資源を活用した教育の実践に取り組んだ。
取組状況と その分析	教育課程編成委員会の開催（2回） 学外における授業機会の増加
今後の 改善方策等	さらに地域の施設や関係機関との連携強化を図っていくこと。

④ 学修成果

評価	4
----	---

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	4
実施状況等	介護福祉士国家試験の全員合格を目指し、2年次を中心に模擬試験を4回実施した。また、国家試験対策授業に加えて補講を行った。	
4-2	就職率の向上が図られていますか	4
実施状況等	教員引率による県内の就職セミナーへの参加。担任・就職担当教員による面談を実施し、助言した。 施設主宰の見学会への参加を促した。	
4-3	香川県内、関連業界への就職が図られていますか	4
実施状況等	入学時より介護職のやりがいについて教員、卒業生、施設関係者からの話を聞くことで関連業界への就職を意識づけている。1年生を対象に現役介護福祉士との意見交換会を行い、本校卒業生から介護業界の魅力について話し合う機会を持っている。また2年生を対象に福祉人材センターの方からの就職ガイダンスを行っている。	

評価結果 (総括)	就職については、介護福祉分野が慢性的な人手不足となっていることから、内定は出やすい傾向にあった。
取組状況と その分析	福祉の就職セミナーへの参加や施設見学により就職につなげることができた。 施設側が説明会を開催するケースも見られ、周知、参加を呼びかけ、昨年度と比較し、施設を見学する回数が増加した。
今後の 改善方策等	介護福祉士国家試験合格率の向上を図ること。

⑤ 学習支援

評価	3
----	---

◎中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	4
実施状況等	休みがちな学生に対する面談の実施、入学後早期の段階で学生全員との面談の実施。保護者との密な連絡及び三者面談を実施した。	

◎就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	4
実施状況等	就職指導ガイドラインを作成し、それに沿って実施。 就職指導担当教員と担任で情報交換を行っている。	
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	4
実施状況等	福祉人材センターによる就職ガイダンスの実施。 福祉の職場説明会への参加と引率指導、履歴書作成、面接指導を実施。	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	4
実施状況等	担任制による相談体制を実施。朝礼時、また必要に応じて学生の状況を教員間で共有。入学初期の段階で全局面談を実施。アカデミック・ハラスメントに対する体制整備。	
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	4
実施状況等	学校生活アンケートを実施。 担任による面談の実施。アカデミック・ハラスメントに対する体制整備。	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	4
実施状況等	介護福祉士修学資金貸付制度、学生支援機構奨学金制度、その他の奨学金制度などについて情報を提供するとともに、学費に関する相談に対応している。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	4
実施状況等	学校保健委員会設置 年1回、健康診断の実施、再検査対象の学生に対する受診指導。	

5-8	生活環境支援体制を整備していますか	4
実施状況等	入学手続き時に希望者に対してアパート、マンションの紹介を行っている。留学生に対して柔軟に生活環境整備のための支援を行った。	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	4
実施状況等	学籍カードによる緊急連絡先の把握。成績不良や欠席回数の多い者、無断欠席などのある者については、保護者に連絡、また面談を実施している。年度末に三者面談を実施。留学生については、本校入学前の日本語学校と情報交換を行っている。また、法人保証施設と情報交換及び共有を行っている。	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	4
実施状況等	実習先を訪問時に卒業生の状況を把握している。昨年度卒業生を対象に交流会を実施し、動向の把握に努めた。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	3
実施状況等	国家試験不合格者については、卒業後も個別に対応している。 卒業後、希望者に対して医療的ケア演習の現地研修時の試験に向けた支援を行っている。卒業後、転職を希望する者への情報提供、支援を行っている。	
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	3
実施状況等	県立高等技術学校委託生の受入	

評価結果 (総括)	中途退学者数は昨年度1名に対し、今年度は0名であった。	
	就職指導について、福祉人材センターによる就職ガイダンスを実施し、就職に対する意識づけを図った。	
	卒業生への就職支援については、卒業後も希望者に対しては再就職や資格取得のサポートなどを行った。	
取組状況と その分析	学生生活や就職についてはアンケートなども実施しているが、大きな不満点はみられない。	
	卒業生の動向については限られた情報にとどまっている。昨年度卒業生に希望を募り交流会を実施した。	
今後の 改善方策等	今年度に引き続き、卒業半年後をめどに、交流会を開催する。	

⑥ 教育環境

評価	4
-----------	----------

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	4
実施状況等	年一回、教室備品のチェックを行っている。	
実施状況等	空調設備の更新	
6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	4
実施状況等	カリキュラム通り実習を実施することができた。	
6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	4
実施状況等	防火消防点検を実施している。	
6-4	防災訓練等を実施していますか	4
実施状況等	シェイクアウト訓練、避難訓練の実施。南海トラフに関するDVDの視聴。 高知県DWATの協力のもと、災害時の対策等受講。	

評価結果 (総括)	空調設備を更新し、快適な教育環境となった。 介護福祉職として、災害時対応、減災に関する知識を高めることができた。	
取組状況と その分析	環境整備の必要性や防災については、特別な取り組みだけでなく、介護福祉士教育の一環としても行っている。 DWAT活動や災害時の対策等に関する特別講義を受講した。	
今後の 改善方策等	ICTなど介護を取り巻く環境変化に対応するべく情報収集、学習環境の改善に取り組むとともにノーリフティングケアなど新しい介護技術に対応できるよう、教員のスキルを高めていく。	

③ 教育活動

評価	4
----	---

◎目標の設定等

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	4
実施状況等	教育理念に基づき、学科内においても教育目標を作成し、教室に掲示し説明することで、目標とするべき、医療事務員の具体像を明確にしている。	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	4
実施状況等	入学時及び進級時には、オリエンテーションにおいて、学生便覧・シラバスをもとに説明している。 修業年限2年、総単位数93単位であり、職業実践専門課程に認定されている。	
3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	4
実施状況等	座学だけでなく、ロールプレイング等の実務に則した教育も実施している。 入学後の早い段階から、職業の業務の実態や必要な能力について理解させるために、1年前期に卒業生との座談会を実施している。	

3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	4
実施状況等	半期ごとに授業アンケートを実施し、結果を各教員にフィードバックしている、また卒業前には、卒業時アンケートを実施し満足度を確認している。 企業等との連携体制を確保して、教育課程の編成を行うため、企業等の役職員、業界団体の役職員、本校教職員で教育課程編成委員会を設置し、年2回実施している委員会での意見や助言を検討しカリキュラムの改善、工夫につなげている。 2年次に医療機関等と連携し、施設実習を実施している。	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	4
実施状況等	学則において基準明示し、入学時及び進級時に、オリエンテーションにおいて、学生便覧及びシラバスをもとに説明している、保護者へも、三者面談時に成績結果とともに説明している。	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	4
実施状況等	<p>実習実施の可否、実習後の成績、卒業判定について判定会議を実施し判断している。その他の科目についても、学生便覧、シラバスに成績の評価方法を記載し適正に実施している。</p> <p>関連分野での実習の総合成績評価においては実習機関と連携し、実習訪問時の情報交換や実習先の成績等も踏まえ、評価を行っている。</p>	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
実施状況等	資格取得のためのカリキュラムを作成し、入学時、進級時にはシラバス、検定予定一覧を文書化して配布している。	
3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況等	授業の他にも、昼休み、放課後、土日の学校開校日、長期休業中等に補習を実施している。	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	4
実施状況等	教員数は充足している。	
3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	4
実施状況等	<p>公認心理師・臨床心理士・スクールカウンセラー 「現代学生との関わり」 受講</p> <p>日本医業経営コンサルタント学会 「予防・治療・介護までシームレスなデータ連携による DX の実現」 受講</p> <p>日本医業経営コンサルタント学会 「医療 DX における RPA と生成 AI の導入効果～業務効率化と現場の受容課題～」 受講</p> <p>香川県専各連 「主体性創造ワークショップ～私たちの衝動から学生の主体性が溢れ出す未来を創る～」 受講</p>	

◎地域に根ざした教育〈重要〉

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	4
実施状況等	校外実習は、学生のコロナ感染等により、急遽実習期間の延期や変更があったものの、対象者全員が実習を実施し、単位を取得することができた。	
	連携授業は、歯科助手実技授業（香川県歯科医療専門学校）、就職ガイダンス（キャリア形成サポートセンター）、情報モラル・セキュリティ講座（eトピア香川）、メーキャップ教室（ナリス化粧品）を継続実施するとともに、新たに日本医業経営コンサルタント協会と連携した瀬戸内海巡回診療船済生丸の公開講座への参加、クオール（株）と連携した調剤分野説明会を実施した。	
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	4
実施状況等	歴史、文化に触れる授業としては、文章表現の授業の中で、香川の方言、地名、食べ物等の授業を実施している。	
	自然に触れる授業として、運営スタッフとして参加していた乳がん検診の啓発イベント、「ピンクリボンいくしまウォークラリー」が、不定期開催となったため、新たなイベントへの参加を検討している。	
	新年度開始時に、全校で香川県警交通安全教育用DVD視聴、また公共マナー教育として、喫煙防止DVD等の視聴をしているが、加えて、医療事務学科1年生に、外部講師による、情報モラル・セキュリティ講座を実施している。	

評価結果 (総括)	教育理念、教育目標、学科目標に沿ってカリキュラムを作成し、授業においても評価及び改善を継続的に実施している。また、企業等と連携して教育課程の編成を行うため、業界団体、企業等の役員を含めた教育課程編成委員会を設置し、委員会からでた意見や助言を検討しカリキュラムの改善、工夫につなげている。
取組状況と その分析	学生にシラバスを配布し、授業の目的、内容、到達目標、成績評価の方法と項目、授業計画を事前に理解したうえで取り組めるようにしている。
	学生による授業評価は、授業アンケートを実施している。 成績評価及び単位認定は、学則、諸規定に従い厳正に行っている。
今後の 改善方策等	今後も新たな連携授業の実施を拡大していきたい。

④ 学修成果

評価	4
----	---

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	4
実施状況等	資格全員合格項目数を10項目以上に設定している。 授業の他にも、昼休み、放課後、土日の学校開校日、長期休業中等に補習を実施している。	
4-2	就職率の向上が図られていますか	4
実施状況等	教員だけでなく、外部講師、事務職員、卒業生による就職ガイダンスを実施し、目標設定させている。 就職活動中だけでなく、在学中は就職後も、就職先と情報交換をしながら、定期的に面談し、指導、助言している。	
4-3	香川県内、関連業界への就職が図られていますか	4
実施状況等	県外出身者以外は、毎年ほぼ100%香川県へ就職している。 (今年度、徳島県出身者1名のみ徳島へ就職したが、それ以外の就職希望者は全員、香川県内へ就職した) 今年度、1名が公務員となったが、それ以外の就職希望者は、全員関連業界へ就職した。	

評価結果 (総括)	今年度の2年生は、目標である資格全員合格項目数10項目を達成した。
取組状況と その分析	資格取得については、検定ごとに過去の出題傾向を詳細に分析・検討した上で授業を実施、また学生の到達度に応じて、授業以外に補習を実施することにより、取得支援体制を整えている。 就職指導は、計画されたスケジュールに沿って、学科教員だけでなく、外部講師、事務職員、卒業生も含めて実施、また、就職後のフォローの継続により、近年学校宛の求人は安定している。
今後の 改善方策等	今年度より目標資格に、廃止となる診療報酬請求事務能力認定試験の代替検定として、医療事務技能審査試験(医科)を追加し全員合格を達成した。次年度は、これまで希望者受験としていた医師事務作業補助技能認定試験を全員受験検定に変更する。

⑤ 学習支援

評価	4
----	---

◎中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	4
実施状況等	担任を中心に、こまめに面談するとともに、友人や保護者からの情報収集にも努めている。	

◎就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	4
実施状況等	<p>就職支援については、就職指導ガイドラインを作成し、それに沿って実施している。</p> <p>就職の進捗状況については、就職担当教員を窓口として、学科内ではその都度報告し、担当部門とは口頭及びDBへの入力により情報を共有し連携を図っている。</p> <p>大学等との併修または接続が可能な体制については、令和6年度に本校からの編入受入が可能な旨、大学に確認している。</p>	
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	4
実施状況等	<p>1階掲示板に求人先名を掲示し、詳細については、教室に求人票ファイルを設置し公開している。</p> <p>就職ガイダンスは、常勤教員だけでなく、外部講師、事務職員、卒業生等を招いて実施している。</p> <p>就職講座は、全体及び個別で複数回実施している。</p>	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	4
実施状況等	担任は定期的に、全学生と個別面談を実施しているが、必要があれば、担任以外の教員も含めて随時、面談している。	
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	4
実施状況等	いじめ等の早期発見のために、担任との面談だけでなく、学校生活アンケートの実施、また友人や家族からも情報収集し、学科内で協議の上対応している。	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	4
実施状況等	高等教育の修学支援制度、奨学金、教育ローン、サポートプラン等について情報提供している。 専願の入学者に対して、1年前期授業料の免除、減額の制度を設けている。 社会人学生について今年度より、専門実践教育訓練給付制度の利用が可能となった。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	4
実施状況等	学生の健康を担う組織として、学校保健委員会を設置している。 年度当初に健康診断を実施し、再検診については、保健委員から担任を通して、該当学生へ説明し、再検診後の結果は、学生から担任を通して、保健委員へ報告されている。 毎朝学生に、健康確認を実施している。	
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	4
実施状況等	寮はないが、広報課にて、希望者に物件資料の送付、紹介等を実施している。 また、車での通学希望者には、近隣の駐車場の案内、紹介も実施している。	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	4
実施状況等	保護者面談、三者面談時に情報を伝達している。成績・素行不良時には、その都度連絡、面談を実施し情報を収集しそれを基に対応している。 緊急連絡先については、入学時、進級時に確認している。	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	3
実施状況等	卒業生の近況を把握の都度、名簿に入力している。 就職先から求人情報があった際には、就業状況を確認するようにしている。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	3
実施状況等	資格取得希望の申出があった際には、資料の提供、アドバイス等を実施している。 再就職、キャリアアップについては、積極的に相談（今年度8名）、紹介（今年度10名）等を実施している。	
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	4
実施状況等	入学前の履修の取り扱いについては、学則に明記し、必要時に説明している。 社会人入学生の学費軽減のため、今年度より、専門実践教育訓練給付制度の利用が可能となった。	

評価結果 (総括)	今年度、退学者は昨年度と同じ1名であった。
	卒業生に対しては、再就職について、今年度13名の卒業生に相談、紹介等の対応を行なった。
	学生への経済的支援については、今年度も奨学金、修学資金支援制度について対応した。
	また、社会人学生については今年度より、専門実践教育訓練給付制度の利用が可能となった。
取組状況と その分析	成績・資格取得の芳しくない学生については、個別指導等により、学習意欲をなくさないよう努めている。また、ストレス発散のため、クラスマッチ、遠足等のレクリエーションも実施している。
	卒業生への就職支援については、卒業生からの依頼分だけでなく、学校からも連絡、確認を心掛けている。
	中途退学者を減少させるために、こまめな面談、保護者との情報交換を行うとともに、補習等、学習意欲の維持、向上につながる対策を継続していく。
	卒業生の動向については、統一した調査はないため、把握できた都度、名簿へ入力している。
今後の 改善方策等	今後も、中途退学者を減少させるために、こまめな面談、保護者との情報交換を行うとともに、
	補習等、学習意欲の維持、向上につながる対策を継続していく。
	卒業生への連絡を密にして、積極的に現況把握に努め、確認の都度、名簿へ入力していく。
	また、生活困窮者に対して、次年度に向けて本校独自の奨学金制度の新設を検討している。

⑥ 教育環境

評価	4
----	---

6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	4
実施状況等	<p>教育上、必要な施設・設備は整備されている。</p> <p>施設・設備は定期的に点検、補修・修繕されている。今年度は、医療事務学科教室の空調設備の更新、また全校で蛍光灯からLED照明への切り替えを実施した。</p>	
6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	4
実施状況等	<p>実務能力向上を図るため、校外実習を、必修科目として、教育課程に組み込んでいる。</p> <p>実習実施要領等は、学生には実習準備の授業を実施し、保護者へは三者面談時に説明している。</p> <p>実習の成績については、実習先の評価だけでなく、実習訪問時の情報、本人評価、レポート内容、レポート発表等を総合的に判断し、判定会で協議の上、評価している。</p> <p>今年度も、学生のコロナ感染等により、急遽実習期間の変更を依頼した施設もあったが、対象者全員が実習を実施し、単位を取得することができた。</p>	
6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	4
実施状況等	防火消防点検を実施している。	
6-4	防災訓練等を実施していますか	4
実施状況等	4月に学校独自の避難訓練、11月にシェイクアウト訓練を全校生に実施し、1年生には、シェイクアウト訓練時にプラスワン訓練も実施している。	

評価結果 (総括)	<p>実習については、学外での実習をカリキュラムに取り入れ、実習準備科目である、実習ガイダンスを半期授業として実施している。また実習前後には、実習事前指導、実習事後指導を実施し体系的な教育体制を整えている。</p> <p>今年度も、学生のコロナ感染等により、実習期間の延期や変更があったものの、対象者全員が実習を実施し、単位を取得することができた。</p>	
取組状況と その分析	<p>実習先は、学生の就職希望分野、地域、個性等を考慮し、学科内で十分に協議、検討し選択している。</p> <p>実習中は、実習担当教員が、定期的に訪問し、学生の状況を把握するとともに、実習指導者とコミュニケーションを図り、連携して実習指導を実施している。</p>	
今後の 改善方策等	今後、コロナ感染等の突発的事例が発生した際は、就職関連先への依頼、実習先の変更、実習時期の弾力化（順延、随時実施等）、学内実習の実施等により柔軟に対応していく。	

③ 教育活動

評価	4
----	---

◎目標の設定等

3-1	教育理念、育成人材像に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されていますか	4
実施状況等	教育理念、育成人材像に沿って、国の示すカリキュラムを基本として、学生の全員の進級及び卒業、就職内定、国家試験合格の目標に向けて各授業評価等で学力、適性を測っている。	

◎教育課程・教育方法・評価等

3-2	教育課程（カリキュラム）は、明文化されていますか	4
実施状況等	入学時、学生に学生便覧・シラバスを配布し、説明。次年度は親子ガイダンスを計画。 年度当初にガイダンスを通して学生に具体的な説明をおこなった。	
3-3	キャリア教育・職業教育（以下「キャリア教育等」）を実施していますか	4
実施状況等	ジョブカードを活用したキャリアプラン作成セミナーを特別講義で実施した。引き続き臨床現場を想定した学内実習および臨床実習を実施した。	
3-4	授業改善のための取組みが行われていますか	4
実施状況等	学生授業アンケートを前期・後期終了時および卒業時に実施した。新カリキュラムの経過観察、職業実践専門課程における教育課程編成委員会を維持し努めている。非常勤講師を迎え指導いただいている。	

◎成績評価・単位認定等

3-5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定（以下「成績評価等」）の基準は明確になっていますか	4
実施状況等	成績評価基準を学生便覧に明示し、入学時に説明している。 成績を前期、後期試験終了後、保護者に対して三者面談および書面にて周知。	
3-6	成績評価等を適正に行っていますか	4
実施状況等	学則に示す成績評価基準およびシラバスに示す評価方法に沿って適正に評価している。 実習、卒業については学科教員全員による判定会を実施している。	

◎資格免許の指導体制

3-7	資格・免許取得のためのカリキュラムを組んでいますか	4
実施状況等	関係法令に基づいた上で国家資格取得のために有効的なカリキュラムを構成している。 カリキュラムやシラバスは文書化したものを学生に配布した。	
3-8	資格・免許取得のための指導体制がありますか	4
実施状況等	資格取得に向けた時間割や国家試験対策用の時間割を計画実施するなど万全な体制で試験に臨めるよう対策を取った。	

◎教員・教員組織

3-9	資格・要件を備えた教員を確保していますか	4
実施状況等	令和7年3月に退職者があり、調整している。	
3-10	教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか	4
実施状況等	日本臨床工学技士教育施設協議会、香川県臨床工学技士会学術大会に参加し、学科内での情報共有を行っている。また、学内での接遇に関する特別講義に参加した。	

◎地域に根ざした教育〈重要〉

3-11	地域と協力、連携した教育を行っていますか	4
実施状況等	香川県で医療機関に従事している臨床工学技士や卒業生の講義、県内医療施設での臨床実習を実施した。	
3-12	地域の特性を活かした教育を行っていますか	3
実施状況等	自転車交通ルールの指導を実施した。地域の活動として香川県臨床工学技士会学術大会を引率した。	

評価結果 (総括)	例年通り、国家試験全員合格のため補習、個別指導、グループ学習などを実施し学生一人ひとりの学習レベルに合わせた指導を試みた。	
取組状況と その分析	試験結果等のデータの蓄積・分析を行い学生個々に合わせた指導を行った。 教員全員が情報を共有し組織的に計画性をもって取り組んだ。	
今後の 改善方策等	引き続き姉妹校との連携や情報共有を図りながら、入学時から医療人や国家試験に向けた心構えや態度を継続的に発達させる指導をおこなう。	

④ 学修成果

評価	4
----	---

4-1	資格・免許取得率の向上が図られていますか	4
実施状況等	継続的に学内実力試験および全国統一模擬試験等の結果を参考に個々に合った指導を心掛けている。	
4-2	就職率の向上が図られていますか	4
実施状況等	個々に就学状況に合わせて具体的な就職活動について相談した。	
4-3	香川県内、関連業界への就職が図られていますか	4
実施状況等	継続的に香川県臨床工学技士会や卒業生とも連携をはかり、求人状況について積極的に情報収集をおこなっている。	

評価結果 (総括)	国家試験合格に向けて、教職員一体となり連携を図りながら積極的な取り組みを展開した。 資格取得に向けた包括的な支援、各学年や学力に応じた個別対応など、計画的な学習支援に取り組んだ。	
取組状況と その分析	国家試験合格への対策として、継続的に類似試験および外部試験の獲得点数に応じて定量的に卒業要件を定めている。 国家試験合格の学習支援については入学時の段階から計画を立て取り組んでいる。 校内実力試験の分析を行い、指導方法の改善、対策について協議した。同法人内での共通問題、国家試験対策についての情報共有を継続している。	
今後の 改善方策等	今後も継続的に、学生から質問し易い環境作り、個人に合った学習支援の確立を目指す。	

⑤ 学習支援

評価	3
----	---

◎中途退学

5-1	退学率の低減が図られていますか	2
実施状況等	退学者から退学理由及び原因のヒアリングを実施し教育方針や講義内容の改善を図った。	
	欠席の多い学生への連絡、学習面及び精神面で悩みがないか定期的に個別面談を実施した。	

◎就職等進路

5-2	就職等進路に対する支援体制は整備されていますか	4
実施状況等	就職指導ガイドラインを作成し、それに沿って実施している。	
	広報課と教職員が情報を共有し、積極的に連携を図った。	
5-3	就職等進路に関する教育・指導を行っていますか	4
実施状況等	受験希望の病院には積極的に見学に行くよう指導した。	
	すべての求人を事務横の掲示板に掲示している。	
	登校日毎朝、情報提供を継続している。	

◎学生相談

5-4	学生相談に関する体制は整備されていますか	4
実施状況等	入学後4月から5月にかけて担任と学生による個別面談をはじめ、適宜、個別面談等を実施した。	
5-5	いじめ等の防止・対応のための体制は整備されていますか	4
実施状況等	学校生活アンケートを実施している。	
	教務室の移動に伴い、以前よりクラス内の変化を把握しづらくなったが、学生との関係構築に努め、対応したい。	
	個別相談や周囲の学生からのヒアリング等で状況把握、アドバイスを実施した。	

◎学生生活

5-6	学生に対する経済的な支援体制は整備されていますか	3
実施状況等	学生支援機構の奨学金制度と、私設（穴吹キヌエ等）奨学金制度の説明・周知を実施した。	
5-7	学生の健康を担う組織体制はありますか	4
実施状況等	学校保健委員会を組織している。協力病院と提携している。	
	定期健康診断の実施。有所見者については適切な指導のもと再検診を行うよう指導した。	
	毎登校日に健康状態の把握に努めた。	
5-8	生活環境支援体制を整備していますか	4
実施状況等	事務課を通じて、アパート、マンションの紹介を実施した。	

◎保護者

5-9	保護者・保証人（以下「保護者等」）との連携を図っていますか	4
実施状況等	適時三者面談を実施した。学生の成績・素行不良の場合は必ず保護者に連絡を行い、状況確認と三者面談を実施した。万が一に備え緊急連絡先を確保した。	

◎卒業生・社会人

5-10	卒業生の動向を把握していますか	4
実施状況等	卒業後の連絡先を把握した。実習先勤務先の変更等就職状況の変化に努めた。	
5-11	卒業生への支援体制を整備していますか	4
実施状況等	卒業後の資格試験不合格者に対する聴講生制度を設けている。	
	卒業生よりキャリア、就職等の相談を受けている。接遇に関する研修を検討している。	
5-12	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備していますか	4
実施状況等	個人の学習、生活環境について相談に乗っている。 自発的な行動につなげるための接遇に関する特別講義をおこなった。	

評価結果 (総括)	退学者については9名。1年生の退学者7名と顕著に多かった。入学初期の学習意欲や学習意識の把握、教員との関係構築などが不十分であったことが原因と考え、今後の対応策を検討している。	
	担任制を採用し、学生指導全般に対応してきた。今後は負担を分散しながら、イベント等の計画性の充実と拡大を検討している。	
取組状況と その分析	学科会および毎朝、学生状況の共有をおこなっている。全体を通じて個々の目的意識の変化や深さを測ることの難しさを痛感している。 担任を中心に学生状況の把握と分析をおこなっている。	
今後の 改善方策等	入学予定者出身校への訪問を行い、さらに詳しい情報収集を行う。入学時に親子ガイダンスを行い、修学の仕組み等の共有を強化する。入学直後にレクリエーションを行い、クラス内の雰囲気づくりの強化をおこなう。新入生を対象としたイベントの強化を行う。苦手科目に対する授業動画の撮影を行う。	

⑥ 教育環境

評価		4
6-1	教育上、必要、かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか	4
実施状況等	規定されている施設・設備はすべて設置・配備されている。	
	施設・設備の定期点検、メンテナンスは管理実行できている。	
6-2	校外の実習、インターンシップ、海外研修等（以下「校外実習等」）について、十分な教育体制を整備していますか	4
実施状況等	臨床実習が教育課程の中に組み込まれており、実施要領、マニュアルは実習オリエンテーションにて配布した。	
6-3	防災・安全管理に関する体制を整備していますか	4
実施状況等	防火消防点検を実施した。	
6-4	防災訓練等を実施していますか	4
実施状況等	防災避難訓練を実施した。香川県シェイクアウトに参加した。	

評価結果 (総括)	新カリキュラムの施設・設備はすべて基準を満たしている。
	学生の学習は効果的に行われている。
取組状況と その分析	施設・設備の点検、メンテナンスは管理実行できている。
今後の 改善方策等	臨床実習に向けた教育体制の充実と臨床実習指導者との連携を図る。
	学生との関係構築を中心に見直し、ソフト面での教育環境の充実を図る。

⑦ 学生募集と受入れ

評価	3
----	---

7-1	学生募集活動を積極的、かつ、効果的に行っていますか	4
実施状況等	ホームページ上、高校訪問時、オープンキャンパス開催時に特徴、取得資格等を具体的に周知。	
	ホームページ上、または事務室内にてシラバス、財務状況などの開示を行っている。	
	担当者の経験に基づいた活動だけではなく、データに基づき論理的な活動を強化した。	
7-2	授業料等納付金の取扱いは適切に行われていますか	4
実施状況等	オープンキャンパスなどで、学科ごとに納入金額の明細を作成した上で、必要に応じて説明している。また保護者からの個別の問い合わせにも資料作成の上で、対応している。	
7-3	社会人入学生の獲得に向け、対策を講じていますか	3
実施状況等	社会人向けのページを作成し、積極的に受入れている。	
	医療事務学科、臨床工学学科が教育訓練給付金制度の対象課程となっている。	

評価結果 (総括)	受験者数・入学者数は昨年度と比べ10%程度減少する見込みとなった。介護福祉学科は横ばい、医療事務学科は増加、臨床工学学科は大幅減少となる見込みとなった。
	介護福祉学科に3年連続で引き続き留学生を受け入れる見込みとなった。
取組状況と その分析	高等学校からの医療福祉分野の出前授業について5校から依頼があった。また県内の大学、専門学校が連携して開催する初の進路イベントを3校で開催できた。
	インターネット上での学校情報発信をさらに強化し、(株)リクルートに加えて(株)マイナビが運営する進学情報サイトへの学校情報の掲載を引き続き行った。
	学校コンセプト「最短でなりたい自分を実現 ～ここであらゆる確かな未来～」を定め、各科の方向性に統一感を出して、学校運営を改善し、広報活動につなげる準備を整えた。
今後の 改善方策等	介護福祉学科 留学生としては、初めて卒業生を送り出したことで、ミャンマーの日本語学校から連携依頼があり、2027年4月入学に向けて協力する見込みとなった。
	次年度に向けても引き続き、各機関との連携(行政、各養成団体、香川県内専門学校・大学、就職先・実習先)をさらに強化する。

⑧ 財務

評価	4
----	---

8-1	学校及び設置者（法人）の収支、財政基盤は安定していますか	4
実施状況等	理事会、評議員会、法人内の議論のもと綿密な予算編成・学校運営を行っている。	
8-2	予算は計画に従って適切に執行されていますか、またそれを確認していますか	4
実施状況等	法人内の財務等に関する定例会において、毎月の状況報告・検討が行われている。	
8-3	会計監査、財務情報公開が行われていますか	4
実施状況等	希望者には文書により財務情報を公開している。	

評価結果 (総括)	本法人の財政基盤は現時点、おおむね安定している。	
	学校法人会計により、適正な会計処理が行われている。	
取組状況と その分析	法人定例会、理事会、評議員会と複数回の考察のもと、予算編成を行っている。	
	決算は税理士による検証、監事による会計監査を行い適正に行われている。	
今後の 改善方策等	少子化などによる学生数の減少にともない、経費の削減や効率化、あわせて志願者増につながるニーズにそった学校運営を考えていかなければならない。	

⑨ 法令等の遵守

評価	4
----	---

評価結果 (総括)	関係法令を遵守し、学校運営を適正に行っている。 5条報告（介護福祉学科・臨床工学学科）の報告を適正に行っている。
取組状況と その分析	毎年5月末までに5条報告を作成し、香川県の所轄機関に報告している。
今後の 改善方策等	引き続き関係法令・就業規則・服務規律を遵守し、適正な学校運営を行うことに努めていく。

9-1	専修学校設置基準・各種学校規程及び関係法令の遵守と、適正な運営がなされていますか	4
実施状況等	5条報告書類作成し、香川県の所轄機関へ提出 就業規則の遵守	
9-2	個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っていますか	4
実施状況等	個人情報を外部へ持ち出さない 就業規則、服務規律に明記	
9-3	自己評価を実施し、その結果を公表していますか	4
実施状況等	学校評価の運営方法に関する手引きを使用し、自己評価報告書を作成 自己評価結果についてはホームページに公表している	
9-4	〔職業実践専門課程〕学校関係者評価を実施し、その結果を公表していますか	4
実施状況等	「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目について評価を行っている。 学校関係者評価についてはホームページに公表している。	
9-5	学校の教育情報について、積極的に公開していますか	4
実施状況等	パンフレット、ホームページにて公開	

○ 評価基準

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	4
----	---

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	4
実施状況等	香川県からの委託事業として介護の入門的研修、補助事業として福祉のとびら事業を実施した。	
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
実施状況等	日赤奉仕団のボランティアに参加及び献血への協力を行った。また施設より依頼のあったボランティアについて周知し、参加を呼びかけた。地域で開催されるレクリエーションへのスタッフ参加を呼び掛けた。また、地域の認知症カフェに参加し、スタッフとともに参加者への支援を行った。	
10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	4
実施状況等	介護の日啓発活動の実施、介護王座決定戦の見学、地域で開催されるレクリエーション活動の支援を行った。香川県の補助事業である「小・中学生への福祉のとびら」事業では学生も地域の小学校へ行き、体験授業を行った。	
10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	4
実施状況等	香川県の補助事業で小・中・高校生に対して福祉について理解を図るため、福祉のとびら活動を実施 高校からの依頼により、高校生に対して介護技術、福祉教育の授業を行った。	

評価結果 (総括)	香川県からの委託事業が中心ではあるが、教員、卒業生、在校生、学校の機器を活用し、地域社会に貢献することができたと考えられる。また、高校には福祉の出前授業を実施した。
取組状況と その分析	香川県より委託を受けて介護の入門的研修事業、福祉のとびら事業などを行った。 施設より要請のあったイベントのボランティアについて、学生に希望者を募り対応した。 香川県及び香川県レクリエーション協会より要請があったレクリエーションイベントに参加した。ソーシャルワークフェスタに学生及び教員が参加した。
今後の 改善方策等	関係機関との連携をさらに密にするとともに、入門的研修などを引き続き受託し、地域社会への貢献に努める。

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	4
----	---

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	4
実施状況等	毎年全国手話検定（令和7年度3日間）と全国手話検定学習セミナー（令和7年度1日間）へ会場提供し、学生が検定も受験している。	
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
実施状況等	学生は、NHK海外たすけあい街頭募金活動へ参加、 教職員は毎日、交替で近隣道路の清掃を実施している。	
10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	4
実施状況等	今年度も、地域行事、イベントや連携事業等は、ほとんど実施されなかったが、毎年、日赤と連携しボランティア等へ積極的に参加している。	
10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	4
実施状況等	本校への見学受入および、高校へ出向いて体験授業等の職業教育を実施している。	

評価結果 (総括)	ボランティアの募集があった際には、ボランティア活動の奨励、支援については、掲示だけでなく、ボランティア担当教員、担任より学生へ意義も含めて、説明、案内している。	
取組状況と その分析	今年度は、例年参加していた、4月の赤十字フェスタ、12月の日赤献血推進活動が、歯科助手講習会や検定と重なったため、12月にNHK海外たすけあい街頭募金のみの参加となったが、医療事務学科から9名の学生がボランティアとして参加した。	
今後の 改善方策等	次年度も、ボランティア、イベントの実施状況をみながら、積極的に参加を勧めていきたい。	

⑩ 社会貢献・地域貢献

評価	4
----	---

10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っていますか	4
実施状況等	香川県臨床工学技士会を中心とした研修会、および地域の活動へ参加している。 本年度も継続的にオンラインセミナー等も活用しながら参加する。	
10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援していますか	4
実施状況等	学生の日赤奉仕団への参加を推奨している。また教職員の近隣道路の清掃活動を行っている。	
10-3	学生の地域との交流を奨励・支援していますか	4
実施状況等	香川県臨床工学技士会のイベントを中心に案内を掲示、募集した。 香川県臨床工学技士会学術集会および中四国臨床工学会の一般演題に学生がエントリーした。	
10-4	高校生等の職業意識涵養に努めていますか	4
実施状況等	学校説明会への参加、および出前授業等をおこなった。	

評価結果 (総括)	ボランティア活動、献血活動に協力した。
取組状況と その分析	香川県臨床工学技士会及び関連学会から参加要請やボランティア要請があれば積極的に協力している。 毎朝、職員が学校周辺の清掃活動を行っている。
今後の 改善方策等	地域との連携、交流を積極的に増やし、地域との関わりを持つことができる体制の確立を図る。

⑪ 総括

評価	4
----	---

11-1	学校評価の実施について評価してください	4
実施状況等	各科（課）の責任者を中心に全員で評価 香川県版学校評価モデルを使用	

評価結果 (総括)	自己評価の実施により、目標に対する意識が顕在化した。 自己評価の実施により、各科（課）の課題が表出され、PDCA サイクルの起点となっている。	
取組状況と その分析	評価表による自己評価も 11 年目になり、スムーズに実施できている。 年度始めの目標計画について、中間点検を行い、目標計画の再構築がなされている。 自己評価と共に、学生に対してオンラインによる「学校生活アンケート」、「授業アンケート」を半期ごとに実施し、客観的評価が教職員にフィードバックされて改善につなげている。	
今後の 改善方策等	「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づく評価の実施 「職業実践専門課程」取得において編成した「学校関係者評価委員会」「教育課程編成委員会」の意見を反映していくこと	

4. 自己評価結果（総括）

評価	3
目標達成状況	<p>① 資格保障(目標資格の取得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉学科: 介護福祉士 22名受験 全員合格 ○医療事務学科: 全員合格項目数 目標 10項目以上 結果 10項目達成 医師事務作業補助技能認定試験合格者数 5名以上 結果 10名合格 ○臨床工学学科: 臨床工学技士 8名受験(3年生7名、聴講生1名) 6名合格(3年生5名、聴講生1名) <p>② 就職保障 内定者数 (3/26 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉学科: 22/22(100.0%) ○医療事務学科: 17/17(100.0%) ○臨床工学学科: 5/7 (71.4%) <p>③ 学生募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定員確保: 介護:18人(45.0%) 医療:17人(56.6%) 臨床:12人(30.0%) (3/26 現在) ・ 介護留学生1名を内定した。 <p>④ 学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業・学校生活アンケートにより学生目線での改善に取り組んでいる。 ・ 学科連携により専門性の高い授業を実施した。 ・ 退学者の増加 : 11人 (3/26現在) <p>⑤ 教育目標(挨拶実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員から積極的に声かけを行ない、定着化が図られている。 <p>⑥ 卒業生との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス、出前授業、オープンキャンパス、インスタグラム等に協力連携をした。 ・ 実習や就職活動において、卒業生から在校生にアドバイスする機会を作った。 ・ 卒後のキャリアアップのフォローなど、相談活動を行い情報提供を行った。 <p>⑦ 社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献血活動は積極的に日本赤十字社と連携を持ち、校内献血、献血キャンペーンに寄与した。 ・ 学科ごとに職能団体との連携、地域行事への参加、ボランティア活動などを計画し、参加。 ・ 小学校への職業体験授業や介護の入門的研修を実施し、地域貢献となった。 ・ 手話検定会場として学校施設を提供した。 ・ 介護福祉学科教員と学生により、「介護の日」の啓発活動を行った。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「教育課程編成委員会」により、企業との密接な連携による教育課程の検討を実施。
今後の課題・改善方策	<p>① 資格保障(目標資格の取得)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士、臨床工学技士、国家試験合格に向けた、指導方法の蓄積と改善。 ・ 医療事務学科、検定取得と学生の負荷のバランス検討 <p>② 就職保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉学科、医療事務学科は基本的に年内内定 100%を目標として指導する。 ・ 臨床工学学科は継続的な進路指導により、国家試験合格と就職内定の目標意識を維持する。 <p>③ 学生募集(定員確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の魅力発信について、学校コンセプトを活用したPRの展開 ・ 高専接続の強化。(職業教育のアピール) ・ 高等学校内にて、授業の一部を担う出前授業の実施拡大。 ・ 香川県専修学校各種学校連合会との連携。 ・ 介護外国人留学生に対する円滑な生活指導、学習指導。 <p>④ 学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活、授業アンケートに対する対応と改善 ・ 退学者の傾向を分析し、対策を整える。(教職員研修を活かした学生把握と指導) ・ 学科間連携授業の精査。 <p>⑤ 教育目標(挨拶実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人と関わる仕事であることを再認識し、自分から先に挨拶する習慣の定着。 <p>⑥ 卒業生との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンスや見学会・説明会・出前授業等への起用を継続的に進める。 ・ 卒後のキャリアアップの協力継続。卒業生の動向を把握すること。 <p>⑦ 社会貢献・地域貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 献血活動を医療・福祉に従事する者として、本校の伝統行事として継続していく。 ・ 地域貢献を職業教育の一環として進める。 ・ 関係団体への協力として学校施設利用を開放していく。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員研修の強化:時代の変化に対応した学生指導、学習指導のあり方等